

【西区】令和2年第1回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和2年2月5日 16時00分 ～ 17時31分
場 所	西区役所4階4A会議室
出席者	<p>【座長】清水富雄議員</p> <p>【議員：2名】清水富雄議員、荻原隆宏議員</p> <p>【西区：14名】寺岡洋志区長、松井達也副区長、宮川淳一消防署長、塚本光俊福祉保健センター長、小黒大治福祉保健センター担当部長、川北好伸土木事務所長、ほか関係職員</p> <p>【局説明員：1名】市民病院管理部新病院整備課 大場重雄新病院整備課長、ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 令和2年度 西区編成予算（案）について</p> <p>2 令和2年度 西区編成予算（案）主要事業説明について</p> <p>3 その他</p>
発言の 要 旨	<p>【令和2年度 西区編成予算（案）について】</p> <p>【令和2年度 西区編成予算（案）主要事業説明について】</p> <p><令和2年度 西区編成予算（案）について></p> <p>清水議員：自主企画事業のうち、予算が同額または減額されている事業についても拡充としているものがあるが、こういった考え方なのか。特に、西区環境行動推進事業は、拡充事業としながら予算は減額となっている。</p> <p>田丸総務課長：拡充事業の考え方は、事業費の増減にかかわらず、事業対象範囲を拡大した事業や細目事業に新規事業があるものとしている。</p> <p>村上区政推進課長：西区環境行動推進事業については、細目事業を一部他の事業に移管したため減額となっているが、事業内容では、環境行動に関する区内企業との連携強化や国際園芸博覧会の誘致も視野に入れた取組の検討などが含まれていることから、拡充事業としている。</p>

<「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」の推進>

清水議員：第4期西区地域福祉保健計画の策定にあたって、我々、市議員も関わるができるということでしたらしっかりと役割を務めたいと考えているが、実際の策定作業を行うメンバーはどのような構成なのか。名簿があれば提供してほしい。

内田福祉保健課長：策定検討会は、連合町内会の会長、社会福祉協議会の会長、医師会の会長など、様々な団体の長によって構成される推進・評価委員会32名の中から選出された13名で構成されている。名簿は後日改めて提供する。

<高齢者あんしん生活サポート事業>

清水議員：今年は、オリンピック・パラリンピックの年ということに尽きるが、来年、関西を中心に年配の方でも参加できるワールドマスターズゲームズが開催される。オリンピック・パラリンピックよりも競技者を身近に感じられる大会で、運動習慣のない方が運動を始めるきっかけになると考えている。

健康寿命とスポーツは密接に関わっており、メタボ対策等の具体的な効果も期待できるので、国際的なスポーツイベント等に合わせて西区独自の取組を実施したい。

塚本福祉保健センター長：メタボ対策において、運動はキーワードとして捉えている。ご指摘の視点を取り入れた事業を展開していく。

<障害のある人も住みやすいまちづくり事業>

荻原議員：在宅障害児・者等への災害時に向けた備えとは、具体的にどのような取組なのか。また、緊急時安心パックは、実際どのような状況で活用されるのか。

また、障害者生活体験事業を実施する場所や部屋数など、詳細を教えてください。

山田高齢・障害支援課長：災害時への備えとして、医療的ケアが必要な方に対しては、訪問看護ステーションと連携した支援計画「わたしの災害対策ファイル」の作成支援を行う。また、災害時の医療機器の電源確保として、福祉避難所に配備してあるガス式発電機の稼働訓練を行う。

緊急時安心パックは、緊急事態等で一時避難的に施設に入所する障害児・者に対して生活に必要な日用品を提供するもの。一時避難先はガッツ・びーと西を想定しており、物品は当該施設に保管し、活用していく。

障害者生活体験事業については、現在、区内のいくつかの事業所と調整している段階。借上げは一部屋を想定しており、一定期間集中して借上げ、利用者ごとに期間を区切って、生活体験をしてもらう。

荻原議員：障害児・者への災害時の支援は重要な課題だと認識している。日用品の配備など、災害時の支援について、西区全体で共有し、取組の範囲を拡げて行ってほしい。

＜子育て支援の推進＞

清水議員：保育所等利用案内の多言語化については、市全体に関わることなので、こども青少年局が行うべきではないかと思うが、どのような考え方で西区の事業として取り組むのか。

寺岡区長：現場では外国人住民からの要望は強く、必要性の高まりを感じたことから、局による実施予定がない中、西区として取り組むこととした。局主導で行うべきという思いはあるが、まずは西区で作成して他区にも共有し、局へも働きかけながら、全市に拡げていきたいと考えている。
西区から発信した事業が全市の事業として取り入れられることを望んでいる。

＜地域資源を活用したまちの回遊性向上事業＞

荻原議員：区局連携促進事業で取り組む高島町駅周辺環境改善について、具体的にはどのような課題があるのか。

村上区政推進課長：今回の事業自体が、これまでに取り上げられた課題や検討内容を体系的に整理・分析し、解決策の検討に繋げていこうというもの。現時点ではまとまった資料はないが、来年度、事業の進捗に合わせて、随時、報告していく。

清水議員：まとまっている資料でなくとも構わないので、現時点で課題として認識している内容を簡単に列挙したものを用意することはできるか。

松井副区長：関係局と調整し、後日改めて説明する。

＜スポーツ振興等事業＞

清水議員：市民病院の移転により三ツ沢野球場の利用が停止している現状がある。また、岡野公園グラウンドにおける雨水幹線立坑ヤード工事により、グラウンドの約半面が来年度より10年間利用できなくなる。このことにより、西区における公園等のスポーツ利用、特に野球利用が制限されている。

雨水幹線工事が西区民の安心安全に繋がる都市機能強化のため、「やむを得ない」という多くの利用者の理解と協力によって現在の状況があるという認識に立ち、代替場所の確保や現行施設の運用の工夫、例えば、戸部公園グラウンド等の既存施設の利用制限を緩和するなど、できる限りの対応をしていくことが必要だと考えている。

具体的な内容として、岡野公園グラウンドの工事ヤード使用に協力している西区野球連盟に対して、小学生低学年に限り、軟式野球利用の許可をしてほしい。

また、一時的な対応となるかもしれないが、野毛市営プール跡地を利用するといった可能性も検討してほしい。当該連盟は、草むしりや整地など、グラウンドの維持管理に対応できる能力と人手を有している。

川北土木事務所長：どのような対応が考えられるのか、対応の可否も含め検討する。

<西区の緑化と地域のつながり形成推進事業>

荻原議員：藤棚が整備されている6公園の名称と、それぞれの公園の藤棚の状況を教えてほしい。また、藤が咲かなくなった原因について、現時点で確認できていることがあれば教えてほしい。他の自治体において、花を活用した地域おこし、商店街振興等もあるので、藤が再生した後の展開も想定して事業を進めてほしい。

森土木事務所副所長：浜松町公園、戸部公園、伊勢町もくせい公園、霜下公園、楠町公園、御所山公園の6公園が、西土木事務所が管理している公園で、ほかに環境創造局が管理している岡野公園にも藤棚が整備されている。

藤の開花状況については、霜下公園は昨年、伊勢町もくせい公園は一昨年、咲いていたことが確認できている。

藤が咲かなくなった原因については、剪定の時期と回数、水やりの頻度と量が影響していると考えている。

<西区ヨコハマ3R夢推進事業>

清水議員：統一的な物品を用いた意識醸成も兼ねた地域清掃活動への支援や先進的なバイオマスプラスチック製ごみ袋の普及啓発など効果的な取組が実施されている。

エコ製品に関して、例えば、間伐材を用いた木のストローなどもあるようなので、様々な可能性を積極的に検討してほしい。

高橋資源化推進担当課長：事業推進にあたっては、ご指摘の視点を取り入れていきたい。

<交通安全事業>

荻原議員：平沼橋の第二跨線橋はエレベーターが設置されていないため、自転車は道路を走行しなければならないが、道路脇はごみが多く、走行していて危険を感じる。特に、母子が自転車で走行している姿を見ると非常に危険を感じる。区役所に安全に到達できる、また常日頃から安全に移動できるという観点から、エレベーターの設置または自転車が安全に通行できる環境を整備してほしい。

川北土木事務所長：路上のごみに関しては、日常パトロールの中で対応していく。ハード面についても課題認識はあるので、道路局と連携して取り組んでいきたい。

<地域防災活動推進事業>

荻原議員：現在配布されている防災マップは大きなサイズのものが多いが、日常的に目にすることができるよう縮小版の作成等を検討してほしい。

また、西区の防災備蓄品について、内容・数量・場所等の現状を教えてほしい。

田丸総務課長：神奈川県では、A4判程度の防災ツールを作成している。そういったものを参考に対応を検討したい。

防災備蓄品の配備状況等については、後日改めて提供する。

【その他】

<西区における開発動向等について>

荻原議員：久保町防災広場等整備の完成図等があれば見せてほしい。

東横線廃線跡地について、西区と都市整備局が連携して実施するイベントとはどのようなものか。

野毛山公園プール跡地公園整備は、地域の方の期待が非常に高いので、地域の方との話し合いの場の用意をしっかりと進めてほしい。

村上区政推進課長：久保町防災広場等整備の完成図等について、西区では保有していない。都市整備局に資料の有無を確認し、後日改めて提供する。

東横線廃線跡地で実施するイベントの詳細は、今年度実施した実証イベントの結果も参考に今後検討を進める。

野毛山公園プール跡地公園整備は、区としても地域の方の関心の高さを感じており、皆さんの意見を反映させる機会を作っていく。

	<p><新市民病院の開院について></p> <p>清水議員：新コロナウイルスに関連して隔離病棟のことがメディアでも取り沙汰されている。市民病院にも当該機能があるが、具体的な病床数、対応能力等を教えてほしい。</p> <p>市民の最大関心事項でもあるので、今回の事態を市民病院の大事な役割を知ってもらう機会と捉え、積極的にPRしてほしい。</p> <p>大場新病院整備課長：現市民病院では、第一種感染症が2床、第二種感染症が24床で合わせて26床整備されている。</p> <p>新市民病院では、病床数は同数だが、第二種感染症の病室が全て一人部屋の個室になり、より患者を受け入れやすくなる。</p>
備 考	